

令和3年度 第1回 京田辺市社会教育委員会議

会議要旨

1 開会

事務局進行

2 委員長あいさつ

3 市長あいさつ

市長より副市長紹介・あいさつ

4 教育長あいさつ

5 議事

(1) 令和3年度 社会教育・生涯学習 事業計画

事務局より令和3年度社会教育・生涯学習事業計画を報告

(委員) 京たなべ・同志社ヒューマンカレッジの内容はどのようなものか。

(事務局) 第1回目は、横山勝彦教授のオリンピック等のスポーツ政策についての講義だが中止となった。2回目の阪田真己子教授の笑い研究の講義は中止となったが、3回目講義②として、実施予定。3回目講義①は若林邦彦教授の世界遺産に関する講義、4回目は鹿野嘉昭教授の貨幣の歴史の講義となっている。

(委員) 中央公民館の市民大学は5回全て受講しなければならないのか。

(事務局) 全回受講をお願いしている。

(委員) 全回受講が条件ならば「いつでも学べる」とはかけ離れているのでは。コロナワクチン接種についても、市ホームページを見るようにという案内ばかり。見方が分からない者もいる。

(事務局) 市ホームページの閲覧などパソコンも生活に必要なものであり、そのような人が生活上必要な知識や技能を身につけられるような働きかけが社会教育だと考えている。今年度は中央公民館でスマートフォンの使い方教室も新規で実施する。

(委員) 今年度も社会教育課はたくさんの事業計画があるが、昨年度はできていない事業もあったが、実施できるのか。

(教育長) 昨年度は感染症の影響もあり、できなかった事業もあったが、今年度は計画的に行っていきたい。

(2) 審議会等委員の推薦について

事務局より依頼団体等からの推薦委員について説明→異議なく承認

(3) 第3次京田辺市生涯学習推進基本計画の策定について

事務局より第3次京田辺市生涯学習推進基本計画の策定について報告

(4) 令和3年度京田辺市教育の方針（抜粋）について

事務局より令和3年度京田辺市教育の方針（抜粋）について報告

（委員）GIGAスクール構想とは何か。

（事務局）児童一人一台タブレットを導入するなど、教育の内容を充実していくもの。

（委員）冒頭のSDGsといった単語が出てくるので、注釈を付けてはどうか。

（事務局）検討する。

6 その他

事務局より令和3年度 京都府社会教育委員連絡協議会総会について説明

7 閉会

副委員長より閉会のあいさつ